

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	相模原市水とみどりの審議会		
事務局 (担当課)	水みどり環境課 電話042-769-8242 (直通)		
開催日時	令和4年9月16日(金) 14時00分～15時30分		
開催場所	相模原市役所会議室棟1階第1会議室		
出席者	委員	8人(別紙のとおり)	
	その他	0人	
	事務局	6人(水みどり環境課長、他5人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 議題 (2) 第2次相模原市水とみどりの基本計画・生物多様性戦略 実績報告書(令和3年度版)(案)について 3 その他 4 閉会		

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

### 1 開会

### 2 議題

#### (1) 第2次相模原市水とみどりの基本計画・生物多様性戦略 実績報告書（令和3年版）（案）について

事務局による説明の後、質疑応答を行った。

（田淵会長）実績報告書3ページに記載のある「知」、「協」、「域」等は何の略か。

（事務局）生物多様性との関連性は「知る」「守る」「使う」、市民協働で取り組むことで、より効果が高まる施策に「協」を示している。計画書51ページの計画体系図には注釈を入れているが、実績報告書においても記載することとする。

（田淵会長）基本目標1の目標値75%は、どのように決めたのか。

（事務局）生物多様性国家戦略において、生物多様性という「言葉を聞いたことがある」と回答した人の割合を75%にすることを目標としており、本市においても、同じ数値とした。

（田淵会長）緑地の定義は何か。

（事務局）緑地面積には、公園、ふれあい広場、子ども広場、木もれびの森、保存樹林・樹木などが含まれている。対象とする緑地については、計画書の57ページに記載してある。

（田淵会長）水辺の定義は何か。

（事務局）岸の周辺を「水辺」としている。

（田淵会長）水とふれあうような市民の活動も、水辺を守ることになるのか。

（事務局）そのとおりである。川の生物の生息状況を調査することや河川美化活動などが水辺を保全する活動である。

（川島委員）各基本目標の基準値について、基本目標2～4が平成30年度であるのに、基本目標1が令和元年度となっているのはなぜか。

（事務局）各基本目標の基準値は平成30年度であるが、基本目標1については、生物多様性の認知度を成果指標とすることを決定し、アンケートを行ったのが令和元年度であるため、基準値の年度が異なっている。

（松井委員）実績報告書4ページの、令和3年度市民アンケートの総数が2,261件となっているが、5ページや6ページの合計値が2,261件にならない。どのように計算したのか。また、グラフには母数（n）等の基本情報を記載した方が親切である。〇〇アンケート調査で実施 総数〇〇件 を記載した方がより具体的で分かりやすい。

(事務局) 総数については、元データを確認する。また、グラフには基本情報を記載する。

(秋永委員) このアンケート調査は、いつ行ったものなのか。2月の審議会において、設問を修正した方がよいとの意見があったが、その意見が反映されていない。

(事務局) アンケート調査は令和4年3月に実施している。2月の審議会において、「知っていますか」の設問に対し、②「言葉を聞いたことがあるが、意味は知らない」の回答を「知っている」に含めていることについて意見をいただいたが、その時点で既に同じ設問で依頼済みであり、変更できない状況であった。令和4年度アンケート調査の設問内容は、変更可能であるが、国（内閣府の世論調査）においても、「①言葉を聞いたことがあり、意味も知っている」、「②言葉を聞いたことがあるが、意味は知らない」、「③言葉を聞いたことがない」としている。そのうえで、本市の設問を変更すべきか否かご意見をいただきたい。

(秋永委員) 東京都の都政モニターアンケート「生物多様性について」では、①の設問は同じだが、②は「意味は知らないが、言葉を聞いたことがある」としている。言葉の順序を入れ替えると、②を選択する人が増えるのではないか。次の調査では変更しても良いと思う。

(吉永委員) ②「言葉を聞いたことがあるけど、意味は知らない」をポジティブな回答として捉えることに違和感があるが、「意味は知らないが、言葉を聞いたことがある」と回答した人は、今後の啓蒙活動のターゲットとなるので、趣旨を考えると、順序を入れ替えれば「知っている」の数値に含めて良いと思う。

(田淵会長) このアンケート調査は、どのように実施しているのか。

(事務局) 市の政策部門が年1回、いろいろな分野の施策に対する市民の意識について調査を行っている。

(香田委員) アンケートの実施方法を教えてほしい。対象人数は何人で、実際に回答した人数は何人か。

(事務局) アンケートの実施方法については、18歳以上の市民から無作為で抽出し、対象人数は12,000人（緑区2,801人、中央区4,530人、南区4,669人 ※全市の人口に対する各区の人口比で抽出）。実施方法は、WEBアンケート形式、実施期間は令和4年3月1日～3月22日、回答数は2,283件、男女別の回答状況は男性45%、女性54%となっている。

(田淵会長) 今後は、分かりやすいように母数等のデータをご提示いただきたい。

(事務局) 承知した。

(田淵会長) 資料1-1の5ページに、タンポポの分布調査を実施したとの記載があったが、この調査はどのような制度に基づくものか。

(事務局) 市民ボランティアの方が、いろいろな生物を観察し、そのデータを蓄積し

ている。各観察員が興味のある生物を調査しているが、全体テーマがあり、令和3年度はタンポポの観察、令和4年度はセミの鳴き声の調査を実施した。

(飯塚副会長) 実績報告書46ページ、411-2「多摩・三浦丘陵などとの広域トレイルネットワークの形成」について、相模原市が5自治体によるプラットフォーム化に不参加になったのはなぜか。

(事務局) 「多摩・三浦丘陵の緑と水景に関する広域連携会議」においては、これまで事務局である川崎市が予算を確保し、当該会議を実施していた。川崎市より各自治体からも負担金を支出してほしい旨の依頼があったが、相模原市を含め、複数の自治体が予算化に至らず、予算化できた5自治体でプラットフォームを結成した。今後の会議の状況により、参加していない自治体は情報共有を行っていく予定である。

(田淵会長) 令和3年度中に不参加となったのか。

(事務局) 令和3年度までは、参加している。

(田淵会長) 令和4年4月1日から不参加と記載した方がよい。令和4年度の実績報告書の記載方法は見直すのか。

(事務局) 令和4年度実績報告書の記載方法は検討する。

(秋永委員) 本実績報告書は、いつ頃公表される予定か。

(事務局) 今回の審議会においていただいた意見を踏まえ、1～2ヶ月後には公表案をお示しする予定である。他計画との兼ね合いもあるが、年内には公表したいと考えている。

(田淵会長) 実績報告書の修正については、全委員に資料を提示いただきたい。

(事務局) 承知した。

### 3 その他

事務局から、次回の会議日程について説明した。

以上

## 水とみどりの審議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	田淵 俊人	玉川大学農学部 教授	会長	出席
2	松井 久実	麻布大学獣医学部 講師		出席
3	吉永 龍起	北里大学海洋生命科学部 教授		出席
4	川島 尚	公募委員		出席
5	秋永 眞里子	特定非営利活動法人境川の斜面緑地を守る会 理事		出席
6	飯塚 裕美	特定非営利活動法人みどりのお医者さん	副会長	出席
7	香川 健	相模原商工会議所 3号議員 (東京ガスネットワーク株式会社神奈川西支店 支店長)		出席
8	香田 隆芳	「小松・城北」里山をまもる会 副会長		出席
9	平野 和夫	特定非営利活動法人相模原こもれび 理事長		欠席